（様式 1）

日本型教育の海外展開（EDUーPort ニッポン）
令和5年度第2回　応援プロジェクト　申請書

申請者	機関名	
	代表者役職名・氏名（ふりがな）	
	郵便番号	
	所在地	
	HP	
連絡担当窓口	氏名（ふりがな）	
	所属部署・役職名	
	郵便番号	
	所在地	
	電話番号	
	Eーmail	

1.　申請カテゴリ

（学校段階）　最も該当する一項目に☑
☐幼児教育
☐初等中等教育
☐高等教育・職業教育
☐社会教育
☐教師教育
☐その他（自由記入　　）

（テーマ）最も該当する一項目に☑
☐理数教育・工学教育
☐外国語教育
☐国際理解教育
☐体育教育
☐音楽教育
☐学校保健
☐ICT 活用
☐キャリア教育
☐ESD
☐その他（自由記入　　）

2.　事業名称、事業目的及び概要等

事業名称（30 字以内）	
事業の目的（50 字程度）	学校の臨時休校による A 国 B 校の〇〇〇とその改善方法を明らかにする。
事業概要（150 字程度）	
相手国・地域	

3.　公募要領上で求められている要件への対応について

No.	必須要件	必須記載（150 字以内）
1	本プロジェクトを通じて、相手国・地域のどのようなニーズに応えますか。	A 国では、2020 年〇月以降、学校が臨時休校され、児童生徒はテレビ授業やオンライン教育等の遠隔教育を受けている。これに伴い、行政/学校現場/児童生徒は、〇〇や〇〇という状態になり、〇〇や〇〇などの課題を抱えている。さらには〇〇などの対応も必要となっている。
2	1で記載したニーズに、どのような日本の特色ある取組をどのように用いる計画ですか。	日本の〇〇では、従前より/コロナ後から〇〇の対応をしており、課題に対処できている/当初は〇〇であったが、〇〇〇と改善された。また、〇〇〇〇〇〇。
3	資金面について、自立的に実施は可能ですか。	☑はい　／　☐　いいえ 資金源：☑　自己資金 ☐　助成金（　　）
4	相手国・地域において、教育関係当局・機関からの協力が得られている。または得ようとしていますか。	☑はい　／　☐　いいえ 相手国・地域の教育関係当局・機関：A 国 B 学校 上記機関との関係：

5	どのように本プロジェクト結果を国内に還元する計画ですか。	計画全体を通じて、国内の〇〇校〇件の参画を予定しており、〇〇担当教員の議論の場を用意している。また、A 国 B 学校での取組を通じ、日本の〇〇の意義役割を再認識する機会となることも期待している。取組の成果を論文にまとめ、〇〇学会の学会誌に投稿したり、全国大会で発表したりすることを計画している。

4. 事業内容・スケジュール

いつ、どのような活動を実施し、どのようなアウトプットが期待されるか、簡潔に説明してください（活動を 3～4つ程度にまとめて記載）。

	活動内容	期待されるアウトプット
活動①	日本、A 国の〇〇について比較する。 • 現地で使用されている〇〇に関連する〇〇を、コロナ発生後の視点で、日本と比較分析し記載内容の課題を明確にする。 • 〇〇について説明資料を作成し、勉強会を開催する。 • B 校にて…	• A 国の〇〇の現状、課題が明らかになる。 • 参加予定者〇名において、対処すべき課題や方策に対する共通理解が得られる。
活動②	…	…
活動③	…	…
活動④	本校、B 校の取組を発表する。 • 取組を論文にまとめる。 • 〇〇学会の学会誌に投稿する。 • 全国大会で発表する。	• 〇〇学会の学会誌に論文が掲載される。 • 〇〇学会の全国大会で発表する。

スケジュール

	1 年目		2 年目			
	第三四半期 （10 月～12 月）	第四四半期 （1 月～3 月）	第一四半期 （4 月～6 月）	第二四半期 （7 月～9 月）	第三四半期 （10 月～12 月）	第四四半期 （1 月～3 月）
活動①	←→					
活動②	←→	←→	←→			
活動③	←→	◆授業	←→	◆授業		
活動④					←→	◆学会

凡例：◆ ＝ 研修など数日の活動　　←→ ＝ 教材作成など長期にわたる活動

5. 事業の規模

本プロジェクトへの参加人数	目標値	
	R5 年度中	R6 年度中
日本側の教員、職員、指導者および学生・生徒・児童・園児の数（人）		
相手国側の教員、職員、指導者および学生・生徒・児童・園児の数（人）		

6. 事業の実施体制

連携する他の機関とどのような役割・責任分担で実施するのか、簡潔に説明してください（150 字以内）。

全体の企画、実施管理については、申請主体である〇〇が行う。〇〇法人〇〇学校は、活動②に記載の〇〇に〇〇の専門家〇名を派遣する。また、活動③に記載の〇〇研修の内容等についても〇〇法人〇〇学校が主担当で作成する。 〇〇法人〇〇支局は A 国 C 大学との関係が構築されているため、活動④の C 大学との取組について中核役として計画を進める。	
日本側連携機関	〇〇法人〇〇学校 〇〇法人〇〇支局
相手国側連携機関	A 国 B 校 A 国 C 大学

7. 過去の実績

本プロジェクトの実施に資する実績について簡潔に説明してください。過去にEDU-Port ニッポンで採択された実績がある場合は必ず記載ください。

実績の概要（100 字以内）	本事業にどう活かしますか（100 字以内）

8. その他（任意記載）

1.～7. で記載しきれなかった事項がある場合は、記載してください（200 字以内）